

杉並区教育委員会 宛

子供園名 杉並区立下高井戸子供園

子供園長氏名 五十嵐 美緒子 印

令和5年度教育課程について (届)

このことについて、杉並区立子供園の管理運営に関する規則に基づき下記のとおり
お届けします。

記

1 教育目標

(1) 子供園の教育目標

人権尊重の精神に基づき、多様な生活経験を通して互いを尊重する心や規範意識の芽生えと豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培うため、次の幼児像を掲げて教育を推進する。

○自分で考えて行動する子 ○自分も人も大切にすること ○心身ともに健やかな子

(2) 子供園の教育目標を達成するための基本方針

- ① 身近な環境に主体的に関わり、試行錯誤を繰り返しながら、知的好奇心や思考力の芽生えを培い、自分で考えて行動する幼児を育てる。
- ② すべての幼児が学級の一員として安心して過ごし、違いを認め合い、共に育ち合う学級づくりを進める中で、保護者や関係諸機関との連携を深めることも含めた特別支援教育を充実させ、自分も人も大切にすることする幼児を育てる。
- ③ 心も体も弾む体験を積み重ね、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむとともに、健康で安全な生活を自ら作り出していくことができる幼児を育てる。
- ④ 仲間と協同して主体的に活動に取り組む経験を重ねる中で、様々な感情体験を通し、一人では味わえない達成感や課題を解決していこうとする意欲を育む。
- ⑤ 幼児が自信をもち、自らの生活を進めていく充実感を味わうとともに、小学生との直接的な交流活動を通して小学校生活への期待を高め、小学校以降の生活や学習の基盤を培う。

2 指導の重点

(1) 教育課程編成、実施に関わる指導の重点

遊びの充実を図り、自分で考えて行動し、自分も人も大切にすること、健康な幼児を育成する。

① 3歳児

- ・基本的な生活習慣を身に付け、一人ひとりの幼児が安心して過ごせるようにする。
- ・教師との信頼関係を基盤に、自分のしたい遊びを見つけ、楽しさを味わえるようにする。

② 4歳児

- ・友達や教師と一緒に過ごす中で、感じたことや考えたことをのびのびと表現し、興味・関心を深めながら遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
- ・園生活に必要な習慣や態度を身に付けられるようにする。

③ 5歳児

- ・友達とのつながりの中で、共通の目的をもち、考えを出し合ったり協力したりしながら、自分たちで遊びや生活を進める充実感、達成感を味わえるようにする。

(2) 環境の構成

- ① 幼児が自ら選んで環境に関わり、遊びを展開していく楽しさを味わえるよう、保育室や園庭等の環境を常に見直し、幼児の実態に応じたものとなるようにする。
- ② 幼児が思いや考えを表現したり他の考えを受け止めたりする機会を意図的・計画的に取り入れ、教師も含めた他者との対話的な関わりを十分に経験できるようにする。
- ③ 遊びや行事等、他者との共通体験が、個々あるいは友達との遊びに生かされたり、学級全体の活動に展開したりする遊びの往還を進める。
- ④ 幼児一人ひとりが安定した心持ちで園生活を送ることができるよう、学級担任を始め、様々な教職員が多面的に幼児理解を深め、組織的に幼児の育成を支える。
- ⑤ 保育参観、個人面談等を通して具体的な幼児の姿から育ちや課題を保護者と共有するとともに、組織的な関わりをもって保護者との信頼関係を深め、子育て支援を推進する。
- ⑥ 小学校教育への滑らかな接続のために、高井戸第三小学校や近隣保育園と連携し、幼児・児童の直接的な交流活動と教職員の合同研修等を通して、教職員が相互の育ちを理解し、幼児の育ちゆく姿を見据えた教育・保育の充実を図る。

(3) 特に重点を置いて指導する内容等

① 安全教育

- ・学校安全計画を基に、幼児自身が安全や健康に気を付けて行動しようとする意識をもてるよう、幼児の心身の状態の丁寧な読み取りと幼児の安全に考慮した生活の流れや活動の進め方を実践する。
- ・幼児の生活や実態に応じた「生命の安全教育」の取組を実践し、自分自身と、周りの人の心身の安全を守ろうとする気持ちの基礎を培う。

② 特別支援教育

- ・園長が主催する園内委員会の実施を通して、幼児の具体的な姿から環境・援助の在り方を見直し、全職員で共有して、幼児が育ち合う学級づくりを推進する。特別支援教育コーディネーターを中心として、家庭や関係諸機関と連携し、幼児理解を深め、一人ひとりに応じた環境の工夫と援助を実践する。

③ その他

- ・長時間保育児が一日を通して安心して過ごせるよう、幼児の心情に寄り添った関わりや実態に応じた環境構成を工夫する。学級担任を中心に職員間の情報共有を徹底し、保護者への伝達を含め、保護者と園との関係づくりを推し進め、幼児の育ちを支える。

— 教育ビジョン 2022 —

みんなのしあわせを創る杉並の教育

学び合い、信頼をつくり、共に生きる
 ちがいを認め合い、自分らしく生きる
 誰もが社会の創り手として生きる
 <教育の当事者として心がけること>
 子どもの思いを尊重する
 ちがいを受け入れる
 対話を大切にする
 学びの成果を贈り合う
 社会を創る当事者として考える

【下高井戸子供園の教育目標】

人権尊重の精神に基づき、多様な生活経験を通して互いを尊重する心や規範意識の芽生えと豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培うため、次の幼児像を掲げて教育を推進する。

- 自分で考えて行動する子
- 自分も人も大切にする子
- 心身ともに 健やかな子

杉並区の目指す「就学前の子どもの姿」

基本的な生活習慣を身につけている子ども
 豊かで強い心と健やかでたくましい身体をもつ子ども
 しっかりと話を聞き、進んで話をする子ども
 自分で考え行動し、きまりや約束を守る子ども
 やさしさや思いやりの心もち、友達と協同して遊ぶ子ども

杉並区就学前教育振興指針より

【目指す子供園像】

安心・安全で質の高い教育保育を提供し、幼児、保護者、地域、職員が、みんなで、みんなのしあわせを創る教育を目指します。

- 幼児一人ひとりがのびのびと自分らしさを発揮する
- 自ら考え学び続け、伝え合い支え合う
- 互いに大切な存在としてちがいを認め合い関わり合う。
- たくましく、しなやかな心と体をつくる
- 基本的な生活習慣、規範意識の芽生えを培う
- 就学前教育に取り組む専門機関として質の高い幼児教育に努める
- 地域や保護者の願い、思いに積極的に耳を傾け常に改善に取り組む。

【下高井戸子供園の経営方針】

- 遊びを中心とした生活の中で、子どもたちが自分らしさを発揮しながら、仲間と共に遊び、共に学び、共に育ち合う喜びと充実感を味わえる保育を推進します。
- 同年齢や異年齢の幼児と関わる中で、様々な感情を体験し、人に対する信頼や思いやりの気持ちを育み、道徳性の芽生えを培います。
- 十分に体を動かす経験を積み重ね、心身の調和的な発達を促す保育をすすめます。
- 基本的な生活習慣を身に付け、健康や安全に関心をもつ幼児を育成します。
- 幼児の実態を的確に把握し、一人ひとりに応じた適切な指導を計画的に工夫します。
- 多様性を認め合い、特別支援教育を充実させ、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促します。
- 子どもも保護者も地域も保育者も共に育ち合い、学び合う場の創出を目指します。
- 保護者や関係諸機関との連携を図り、園全体で子どもの育ちを支えます。
- 感染症対応や災害時、緊急時の連絡体制と危機管理体制の強化を図ります。また、子ども自身が危険を察知し、自分の命を守る行動がとれるよう、安全指導をしっかりと行います。

“子ども”と“子どもを取り巻く大人”に期待すること

一人の人として育つために

一人の人を育てるために

<愛する人になる>

一人ひとりと しっかり 向き合おう
 ⇒ FACE to FACE で 理解を深めよう
 人権感覚を磨き 自分も人も、大切にしよう
 コミュニケーションを図り、共に育ち合おう

<感じ考える人になる>

命を守り、安心できる園を創ろう
 “小さなつぶやき”にも耳を傾け、心を寄せよう
 “なぜ” “どうして” を大切にし、共に考えよう
 多様性への理解と知識を深めよう

<人として美しくなる>

心身ともに 健康であるよう 努めよう
 自分を 磨こう
 マナーやエチケット、礼儀や言葉遣いに気を配ろう

<確かな仕事をする職員になる>

チームの連携を深め、互いの力を生かし、新しい力を創造しよう

計画的、効率的に取り組み、働き方改革を進めよう

法令、サービスを遵守し、情報、金銭を厳格に管理する